



SALA補助金活用セミナー 2018

ご招待

参加無料／事前登録制

2018年3月14日(水)

セミナー 13:15～16:40
受付開始 13:00～



お客様各位

拝啓、立春の候、皆様におかれましてはますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

日頃はサーラグループに協力とご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

企業における省エネルギー・節電やものづくり基盤技術の高度化は経営戦略に欠かせない重要なファクターとなっております。このような社会環境に鑑み「SALA補助金活用セミナー」を開催し、2017年度補助金事業の結果と2018年度の補助金予算概要の内容を中心に紹介させていただきます。貴社、エネルギー管理・省エネ検討・研究開発への一助となればと考えております。ご多忙の折とは存じますが、皆様のご参加をお待ちしております。

敬具

会場のご案内

豊橋商工会議所 4階406会議室

愛知県豊橋市花田町石塚42-1

- 公共交通機関のご利用が便利です。JR/名鉄 豊橋駅東口から北へ徒歩7分
- 車にてご来場の際は、「豊橋まちなかパーキング提携の駐車場」をご利用下さい。受付にて駐車チケットをお渡しします。



主催およびお問い合わせ先

■ 中部ガス株式会社
豊橋支店 エネルギー営業G
TEL 0532-32-5513

■ ガステックサービス株式会社
豊橋事業所 Iネジ・ソリューションズ
TEL 0532-65-4312

■ 株式会社中部技術サービス
営業開発部
TEL 0532-32-9991

■ 株式会社リビングサーラ
本社 法人営業グループ
TEL 0532-32-1441

■ 株式会社中部
情報通信部
TEL 0532-33-0111

■ テクノシステム株式会社
営業部
TEL 050-3818-1780

■ サーラeエナジー株式会社
TEL 0532-57-7250

担当

SALA補助金活用セミナー セミナープログラム

第1部 【基調講演】

13:20~14:20

『デザイン戦略で脱請負型経営！』

本多プラス株式会社
代表取締役社長 本多孝充



○ 内容

昨年、11月28日に開催された、アントレプレナー（起業家）表彰制度『EY アントレプレナー・オブ・ザ・イヤー 2017 ジャパン』日本大会において、本多プラス株式会社代表取締役 本多孝充氏が**アクセラレーティング部門大賞**を受賞され、また、昨年より新しく創設された『グローバル・エクスペリエンス・モナコ賞』を同時受賞されました。EYアントレプレナー・オブ・ザ・イヤーとは、新たな事業領域に挑戦するアントレプレナー（起業家）の努力と功績を称える国際的な表彰制度であり、今回は、それら国際的な賞を受賞された、本多プラス株式会社 本多孝充社長に基調講演にご登壇いただきます。

本多プラス株式会社 1946年創業/愛知県新城市

空気で樹脂を膨らませる「フロー成形」技術で、化粧品や医薬品、工具や文具、食品容器など、多彩なプラスチック製パッケージを製造。高い精度や機能を要求される高付加価値製品を得意としており、素材から生産設備の開発までを行う「フローラボ」とデザインを担う「クリエイティブオフィス（東京/表参道）」を置き、機能性・デザイン性を兼ね備えた製品を創り出している。

第2部 【省エネ・補助金活用セミナー】

14:30~15:50

平成30年度省エネ補助金の概要と活用

株式会社コムラッドファームジャパン
代表取締役社長 平阪靖規



○ 内容

- ・今年度の補助金はどのような種類があるのか？
- ・補助金の対象となるのはどのような場合？
- ・補助金が採択されるコツは？

以上のような観点から補助金の活用をお考えの皆様に分かり易く解説致します。

【講師プロフィール】

株式会社コムラッドファームジャパン 平阪靖規(ひらさかやすのり)様

中小企業診断士 ITエンジニア、公的機関での中小企業支援の経験を経て独立。2014年10月に株式会社コムラッドファームジャパンを設立し、代表取締役に就任。現在は新規事業立ち上げ支援、IT化支援、事業再生、補助金申請支援などで中小企業・小規模事業者向けに経営支援サービスを提供している。

第3部 【省エネ診断・電気小売業】

16:00~16:40

「省エネ診断とその実施例」

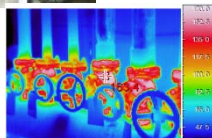
中部ガス株式会社
ガステックサービス株式会社

●お客さま先の省エネルギーをお手伝いさせていただく省エネ診断の取り組みについて蒸気ボイラと空調の事例を紹介致します。

燃焼排ガスの測定・分析 配管放熱量と保温効果の試算



スチームトラップの点検



「新電力への切替と再エネ賦課金の動向」

サーラeエナジー株式会社

●新電力切替により電気代の削減。FIT制度の原資となっている再生可能エネルギー発電促進賦課金の動向を説明いたします。

新電力による電気代削減 固定価格買取制度のしくみ

